

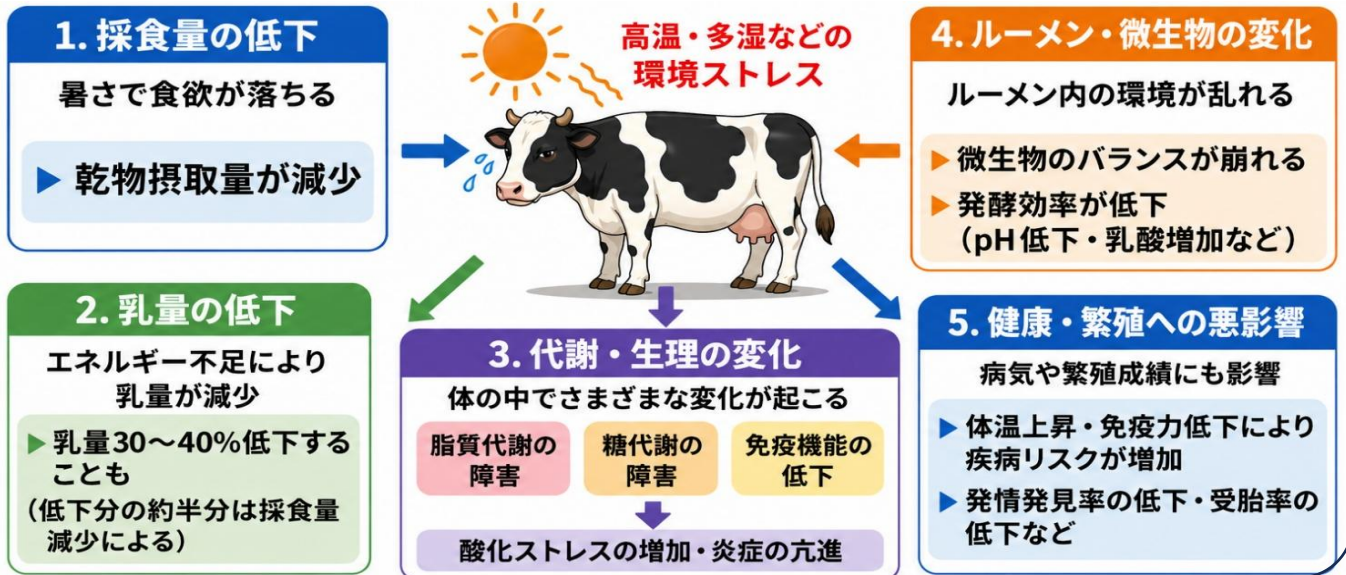
かほだより

R8-3号
R8. 5. 12

長野県伊那家畜保健衛生所
TEL: 0265-72-2782
Fax: 0265-72-2765
E-mail: inakachiku@pref.nagano.lg.jp
所在地: 伊那市西町5764
伊那諏訪家畜畜産物衛生指導協会
TEL&FAX: 0265-76-8086

暑さに負けない牛づくりで、この夏をチャンスに変えよう!

暑熱ストレスの影響



暑熱ストレスは「食欲低下」だけでなく、代謝・腸内環境・免疫なども影響し乳量低下や健康障害、繁殖成績の悪化につながります。

そこで、暑熱対策のポイントは！？

“体感温度を下げる”ことが生産を上げる近道	送風・ミスト・日よけで、体感温度を下げる環境づくり。 → 牛舎内を通気よく、牛体に届く風速を確保しましょう。 ※牛の胸部を中心に風速3m/秒以上の送風が重要!
給餌タイミングと“水”が生産を左右	「涼しい時間の多回給餌」+「十分な水」+「第一胃pH管理」で採食効率を最大に! → 管理の差はそのまま乳量の差になります。 ※第一胃のpH低下予防に重曹などバッファーの使用は不可欠!
採食量の低下は“飼料の質で勝負”	高エネルギー飼料やバイパス脂肪添加でしっかり栄養確保。 → “食べない夏”を前提に飼料を検討、夏こそ“いい草”を使いましょう。消化性の高いサイレージや乾草を優先! ※粗飼料は長すぎず短すぎず 2~5cm程度に切断、長くても7~8cm程度に細断
“暑さに強い体”を作る	ビタミン・ミネラル・酵母などで代謝を支え、夏バテを予防! → 栄養補助は“保険”ではなく“攻めの対策”です。 ※酸化ストレス・免疫増強にビタミンE・C、セレンなど ※体温・皮膚温の低下にナイアシンが効果あり ※酵母・プロバイオティクスでルーメン安定化・微生物環境改善



風・水・栄養の対策で牛も農場も元気に!